

週刊山陰経済 ウィークリー

40 Anniversary
th since 1977

2017

6/27

▶ 7/3

編集・発行 山陰中央新報社

企画 書き下ろしコラム

今週の視点／論点

三輪泰史氏

(日本総合研究所)

WEEKLY
FACE



大昌株
社長

下手 将人氏

A I 開発

時代生き抜く鍵 取り組み活発化

中国ワイド
開設から3年、浜田市の広島市場開拓室

マンスリーインタビュー
大田商工会議所会頭・森田博久氏

WEEKLY NEWS

ブローラー出荷技術で大山どり最優秀賞
需要増に対応、ファデコが新工場設置へ
複合施設「ユウベルプラザ」オープン

ファデコが新工場を設置

ステンレス精密加工部品の需要増に対応

モーター部品製造の(有)ファデコ（安来市伯太町安田中、藤原敏孝社長）が本社敷地内に新工場を設置する。自動車やプリンター用のステンレス精密加工部品の需要増に対応するため。7月末に本格稼働させ、既存の本社工場との2工場体制で、2018年6月までに生産能力を現在の1.5～2倍に高める。

自動車

プリンター

7月末 本格稼働 生産能力1.5～2倍に

ファデコが本社敷地内で建設している新工場
＝安来市伯太町安田中



同 社は、金属の中でも切削しにくいステンレスの精密加工を得意とする。特に自動車のモーターのシャフトや家庭用プリンターのシャフトに用いられる直径数ミリの小型部品の製造、加工の技術

る。第二工場は倉庫として活用する。

工場新設に合わせて、円筒研削盤などの設備を増強する。投資額は工場建設と設備増強を合わせて7億円。工場の費用には、(株)日本政策金融

公庫松江支店（松江・市殿町）の貸付制度「新事業育成資金」を活用した。同資金は、高い成長性が見込まれる新事業に取り組む中小企業を対象にしている。

従業員は現在の65人から10人増やす。ステンレス精密加工部品の月産の生産能力は、車載用で現状の2倍の40万本、プリンター用は1・5倍の100万本とすることを計画。18年

に優れ、業務の中心に据えている。建設中の新工場は鉄骨平屋約1800平方メートル。本社工場から南西に2キロ離れた第二工場（同町母里）の機能を吸収し、業務の効率化にもつなげ

上高を16年9月期比で20%増の10億円に引き上げることを目指す。藤原社長は「海外メーカーとのコスト競争では厳しい。品質を高めることで需要を取り込んでいきたい」と話している。（堀江玄）

環境対策につながる新技術などを展示する

「2017年NEW環境展（日報ビジネス主催）」が5月23日（26日、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催された。山陰両県からは、しまね産業振興財団（松江市北陵町）、鳥取県産業振興機構（鳥取市若葉

リサイクル製品や汚泥処理装置PR 両県から13社出展



アクア・プロジェクトが出展した汚泥浄化装置「きぼう」に注目する来場者＝東京都江東区、東京ビッグサイト

東京でNEW環境展開催

人が来場した。環境製品開発・販売の(株)アクア・プロジェクト（松江市上乃木4丁目、梅隆喜社長）は、スギやヒノキの木材チップで汚泥を浄化する装置「きぼう」を紹介。通常の汚泥処理で用いられる化学薬品を使わず、環境に配慮している点を強調した。

総合建設業の(株)大協組（米子市蚊屋、小山典久社長）は、焼却灰を硬い岩石状に加工した盛り土材「エコソイルR」を展示し、真砂土と混ぜ合わせて水田など軟弱地盤での道路工事に活用できることをPRした。

このほかの山陰両県の出展企業は次の通り。

【島根】(株)イワタクリエイト（松江市）▽(株)切川物産（出雲市）▽(株)研電社（同）▽D・ライト（株）（同）▽KOKKE P ROJECT（江津市）

【鳥取】(株)ウッドプラスチックテクノロジ（倉吉市）▽(株)鳥取再資源化研究所（北栄町）▽藤森産業機械（株）（米子市）▽(株)日本マイクロスステム（同）▽(株)ワイエスエンジニアリング（同）▽(株)アサヒメッキ（同）

台南7丁目）が構えたブースに計13社が出展し、取引拡大に向け、それぞれ汚泥処理装置やリサイクル製品、水力発電装置などをアピールした。環境ビジネスをテーマにした展示会としてはアジア最大規模。今回は515社が出展し、4日間で延べ約15万8千

（堀江玄）